

# 真庭市農業委員会だより 「豊かな大地」第15号

真庭市内で  
がんばっている人 紹介します

## 子どもの頃から農業一筋!

松尾祥希さん(20) (落合)



### 【農業を始めたきっかけは?】

自分が保育園に通っていた頃、園から連れ帰ってくれるときに、祖父と一緒に農地を見て回っていました。その頃からずっと農業に携わりたい!と思い、現在まで同じ気持ちでいましたので、農業科がある高校へ通い、卒業後は迷うことなく農業の道に進みました。

### 【就農した感想は?】

15haも作っていると、とにかく草刈りが大変です(笑)。でも、思ったよりやれるなど感じました。車や、バイクが大好きなので、田植え機やコンバインなどの農機具に乗って楽しく作業が出来ています。あとは何と言つても作物が育つて収穫出来るときが本当にうれしいです。今後はさらに面積を増やして、いつかは今の一倍の規模にすることが大きな夢です。また、高校で専攻していたトマトも作ってみたいですね。

### 【皆様にメッセージ】

地域の方々が支援してくださっているおかげで農業が出来ています。これからも農業に携わっていきますので、引き続きの応援をよろしくお願いします。また、農業をしようか悩んでいる方、農業は本当に楽しいです。農業と一緒にやりましょう!

もくじ

真庭市内で頑張っている人の紹介	..... P 1~3
令和5年 農業委員会総会開催日一覧	..... P 2
農地の売買・貸借・転用について	..... P 3
令和5年 農業委員会年度活動報告	..... P 4~5

鳥獣害対策について	..... P 6
農業者年金について・農地中間管理事業について	..... P 7
北房地域農業委員の活動・編集後記	..... P 8

真庭市内で  
がんばっている人 紹介します

# 美味しいキャベツを食べてみて! 芦立慎吾さん(53) (川上)



雪の下から取り出したキャベツ



採りたてのキャベツと芦立さん

岡山市からUターンで真庭市蒜山に帰り、28歳の頃にキャベツを作り始め、現在はキャベツ1ha、米4haを妻の美和さんと二人で作っています。芦立さんの作るキャベツは「甘い！やわらかい！シャキシャキ！」と、生で食べてもおいしい逸品となっている。

## 【農業でやりがいを感じること は?】

お客様の喜ぶ声を聴いたときです。道の駅にキャベツを出荷したとき、購入者から「前に芦立さんのキャベツを食べて、とても美味しかったのでここまで買いにきました」と、市外・県外の人から声をかけてもらうこともあります。自分の作った野菜で喜んでくれる人がいることが何より嬉しいです。ちなみに私のキャベツは紅葉の時期が一番おいしいです。生食もいいし、レンジで加熱してポン酢をかけて食べるのも簡単でオススメなので、ぜひ一度食べてみてください。

## 【今後の目標について】

「おいしい！」と言つてもらえる野菜を作り続けることで、そのためには、作った野菜を一番おいしく食べてもらえるタイミングで出荷することに気を付けています。また、ほかの作物も作ってみたいですが、ミニトマトやぶどうなども興味があるので、手が回る範囲で取り組んでみたいと考えています。

## 令和5年度 真庭市農業委員会総会開催日等一覧表

申請の締切日	総会日	3・4・5条許可日	県農業会議常設審議委員会開催日
3月20日(月)	4月10日(月)	4月10日(月)	4月28日(金)
4月20日(木)	5月10日(水)	5月10日(水)	5月29日(月)
5月19日(金)	6月9日(金)	6月9日(金)	6月28日(水)
6月20日(火)	7月10日(月)	7月10日(月)	7月18日(火)
7月20日(木)	8月10日(木)	8月10日(木)	8月28日(月)
8月18日(金)	9月11日(月)	9月11日(月)	9月28日(木)
9月20日(水)	10月11日(水)	10月11日(水)	10月30日(月)
10月20日(金)	11月10日(金)	11月10日(金)	11月28日(火)
11月20日(月)	12月11日(月)	12月11日(月)	12月15日(金)
12月20日(水)	1月11日(木)	1月11日(木)	1月29日(月)
1月19日(金)	2月9日(金)	2月9日(金)	2月28日(水)
2月20日(火)	3月11日(月)	3月11日(月)	3月28日(木)

### 注意事項

- (1)総会は、原則午前10時に開会しますが、やむを得ない事情等がある場合には変更する事があります。
- (2)総会日が変更となった場合、許可日も変更となります。
- (3)4・5条申請の許可日は原則総会日と同日になりますが、30aを超えるなど岡山県農業会議への諮問が必要な案件については、岡山県農業会議 常設審議委員会で許可が適当と認められた日以降の許可日となりますので、あらかじめご了承下さい。

# 真庭市内で がんばっている人 紹介します

# 農業をがんばるあなたを 応援します！

一般社団法人  
蒜山農業公社(八束)



田植え作業中の野尻さん



飼料イネの収穫作業  
その場でホールクロップ  
出来る収穫機を使用

「アピールポイントはありますか？」

でいて、ぶどうハウスを  
5棟作りました。再来年  
から本格的に収穫できる  
ようになるので、忙しく  
なりますが楽しみでもあ  
ります。

も毎年挨拶に来てくれる  
人がいて嬉しいですね。  
県事業の「ハイブリッド  
地域育成」この取り組み

それから除雪まで幅広い手伝いに力を入れていて、『手伝いします』の気持ちでさせていただいております。今まで様々な関わり方で10

平成12年に設立し、「農業をがんばるあなたを応援します」というスローガンのもと活動している一般社団法人蒜山農業公社。事務局長の野尻英晶氏（61）は、人情味あふれる人柄で、周囲の農業者からの信頼も厚い。地元の小学校の食育教育のために、学校の畑の耕起作業等をボランティアで実施している。そんな彼にインタビューを行つた。

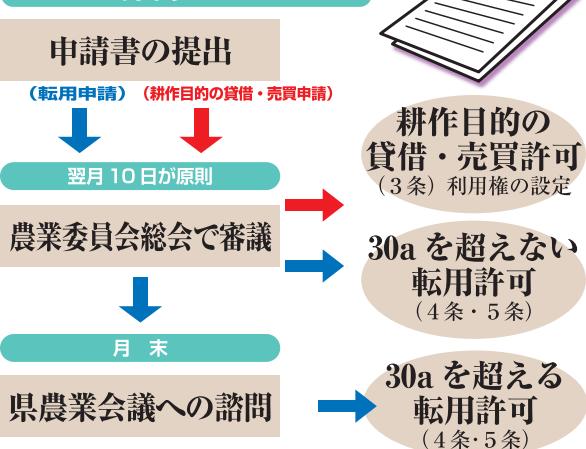
【主にどんな事業を実施していますか?】

若手職員を募集しています！興味がある方は下記連絡先もしくはHPからご連絡ください。  
お待ちしております。（真庭市蒜山上長田 449-6 TEL:0867-44-1151）



## 農地法の申請から許可までの流れ

締切：原則毎月 20 日ですが  
月によって異なる場合が  
あります



※転用申請・利用権設定の用紙はインターネットでも手に入ります。  
<http://www.city.maniwa.lg.jp/>（真庭市公式ホームページ）  
真庭市 HP→サイト内の検索→「農業委員会」→「★各種様式」

農地を売買・貸借する場合、または宅地や駐車場などに転用する場合は、農業委員会の許可を受けることが農地法で定められています。必要な許可を受けていない場合は、処罰の対象になることがあります。

農地区分によつては、転用できない目的がありますので、契約や工事をする前に、農業委員会事務局または農業委員へご相談ください。

農地（田畠）の売買・貸借・  
転用には許可が必要です

# 令和4年度 農業委員会 活動報告

農地や農業全般に関するお困りごと・相談がある方は農業委員会にご相談ください。



毎月  
0日頃

農業委員会総会

毎月の総会で農地の権利移動や転用の可否等について慎重に審議を行っております。  
傍聴席を設けていますので、興味のある方はお気軽に越しください。

視察研修（徳島県上勝町）

徳島県上勝町へ視察研修を行いました。上勝町は人口約1,400人、高齢化率53%を超える四国で一番小さな町ですが、高齢者が主体となつて行う「葉っぱビジネス」が有名で、「葉っぱを売る」というユニークなビジネスを構築し、今や年商2億6千万円を超えるまでになりました。おばあちゃんがパソコンやタブレットを使して、年収1千万円を超える農家まで現れてます。このビジネスの波及効果として、高齢者がいきいきとしていて、後期高齢者の医療費

## 7月～ 10月頃 農地パトロール（利用状況調査） 非農地判断



**7月6日**  
**北房小学校ぶどう作り農業体験**  
**【袋掛け・土作り】**（詳細は裏表紙）



### 取り組みについて説明を聞く委員

農地法に基づく業務として農地パトロールを行いました。真庭市内の農地を各地区の委員が現地を見て回り、農地が荒れていないか、違反

く地域で協力しながら問題解決に取り組みましょう。



委員の活動により同月内に適正な管理がされた農地

転用がされていないか等を確認します。ここで発見された利用頻度の低い農地は、転用がされていなかったことと合わせて、その転用が軽減されているとのことで大いに喜んでいます。

転用がされていないか等を確認します。

ここで発見された利用頻度の低い農地（遊休農地）について、農地の所有者に意向を確認し（利用意向調査）、貸付希望のある方には農地中

## 北房小学校ぶどう作り農業体験 【収穫体験】（詳細は裏表紙）

9月21日

11月24日

### 中国・四国女性農業委員研修会

岡山市で女性農業委員研修会が開催され、中國・四国地域の委員等183名が集まりました。岡山県の代表の一人として、樋口委員が真庭市女性農業者意見交換会の活動報告を行いました。本研修会において、女性農業委員を登用する意義について再確認しました。女性ならではの視点が必要と言われていますが、みんなが求める「女性の視点」を持たなくてはならないといふ「無意識の思い込み」をしている可能性があります。



女性農業委員研修会

「男女の差は経験に過ぎない、異質の経験の融合によって集団の質が変化するのです」と、講師のお話があり、農業委員会という組織がまさにそぞと感じました。



市長と意見交換をしている委員

岡山市で農業委員・農地利用最適化推進委員会が開催され、真庭市農業委員会を含む岡山県内の農業委員等が参加し、農業についての現状を求められている役割について勉強しました。



2月20日

### 委員等研修（岡山市）

太田昇市長に『真庭市の農業施策に関する意見書』を提出しました。内容は「担い手として多様な人材の確保と育成等の支援強化について」や「食料自給率の向上に向けた取組について」、「有害鳥獣対策の強化について」など7項目で、農業に関する状況をより良くするためには提案しました。

農業委員会等が協力してより農業がしやすい地域としていきましょうと、活発な議論が出来ました。

5

## 全国農業委員会会長代表者大会 【市長と話そう！（農業委員会）】

2月16日

東京都で全国の農業委員会会長代表者約900人が集まる大会が開催され、真庭市から矢谷会長が参加し、令和5年度農業関係予算の確保等に関する要請決議等を行いました。



# 鳥獣害から大切な作物を守りましょう

はじめに

真庭市では年間約1700万円、74haの鳥獣害被害が出ており、地域ごとに差はありますが、主に「シカ・サル・イノシシ・カラス」による被害が大きい現状です。被害対策の基本は3つあります。

- ① 捕獲による個体数調整（加害動物の数を減らす）
- ② 防護柵による被害防除（守りたい農地に入れない）
- ③ 誘引要素の除去等環境整備（動物から見た集落の魅力を減らし、寄せ付けない）

今回は②について地域全体で取り組んだ事例と、個人で出来る取り組みを紹介します。



地域全体での取り組み（黒田地区）

地域全体での取り組み事例として、美甘の黒田地区をご紹介します。黒田地区では中山間地域等直接支払交付金制度の広域化加算や、県補助金・国庫補助を受け、地域全体(38ha)に防護柵の設置を行っています。

黒田地区はサル被害が多く、特に美甘の特産品である餅を作るためのもち米を好んで食べるため、地域で話し合いを行い、地域全体で対策をすることに決めました。設置作業は地元住民で行い、男性だけでなく女性も参加し、一丸となって取り組んでいます。



設置が終わった個所について「被害が無くなり収量が上がった」「鳥獣害に悩み、高齢の自分一人では無理だと諦めて農業を辞めようとしていたが、もう少し農業を続けられそう」等の声が上がっているそうです。黒田地区の方に話を伺うと、「困っているからなんとかしてくれ」ではなく「地域のみんなでなんとかしよう！」と立ち上がる事が大切だと教えてくれました。

個人で出来る取り組み

電気柵などの防護柵は高い効果が期待できますが、高額な費用や管理の手間が必要となり、設置にも大きな労力を要します。そういうことから、防護柵の設置までできないと思われている方には、以下の対策がおススメです。

- ① 農地などに餌になる食べ物（野菜くず、生ごみ、未収穫の果実など）を放置しないこと。  
餌場と認識され、人にも馴れてしまします。
- ② 草刈り等の管理を行い、動物が隠れられる場所を無くすこと。動物が安全に作物までたどり着けないようにしましょう。
- ③ 姿が見えたら追い払うこと。人馴れさせないことが大切です。

個人での対策が地域全体での鳥獣害対策にもつながるので、出来ることから始めましょう。

補助金・連絡先

真庭市には下記の鳥獣害対策の補助制度があります。詳しくは下記お問い合わせ先までお尋ねください。

- 防護柵設置補助金（国・県・市補助金）
- 狩猟免許の取得補助金
- 有害鳥獣捕獲事業補助金（猟友会のみ）
- サル花火配布（煙火消費保安手帳をお持ちの方のみ）



（お問い合わせ先）：真庭市農業振興課 TEL:0867-42-1031



加入で安心!

# 農業者年金



農業者年金へは、次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます

年間60日以上  
農業に従事

国民年金第1号  
被保険者

60歳未満

国民年金保険料納付免除者を除く。

※さらに、年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

## ■農業者年金に加入すれば ~農業者年金の受給額(年額)の試算~

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円*	780万円	58万円	49万円	1,243万円	1,315万円
		2万円	960万円	76万円	64万円	1,635万円	1,730万円
30歳	30年	1万円*	660万円	45万円	38万円	968万円	1,024万円
		2万円	720万円	50万円	43万円	1,085万円	1,148万円
40歳	20年	2万円	480万円	30万円	25万円	642万円	680万円
50歳	10年	2万円	240万円	13万円	11万円	286万円	303万円

上のケースは通常加入で保険料月額2万円で加入し、65歳までの運用利回りが2.5%、65歳以上の予定利率が0.30%となった場合の試算です。受給総額は65歳での農業者年金加入者について想定している平均寿命を考慮し、男性86.5歳、女性92.0歳まで生存した場合の金額です。

\*35歳未満かつ特定の条件を満たした方は、月々1万円から加入できます。問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

### お問い合わせ先

真庭市役所農業委員会 ☎0867-42-1676  
JA晴れの国岡山(真庭地区総務部) ☎0867-52-1121

## 農地の貸し借りは農地中間管理機構をご活用ください

下記問い合わせ先にご連絡いただくな、**真庭市役所2階農業委員会事務局スペース**にも**農地中間管理機構の常駐職員**がいますので、お気軽にご相談ください。

**岡山県農地中間管理機構** ☎0703-8278 岡山市中区古京町 1-7-36

(公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団) ☎ 086-226-7423 FAX.086-206-7330

●美作支部 ☎0708-8506 津山市山下 53 (美作県民局農業振興課内) ☎ 0868-23-1325 FAX.0868-23-1510

詳しくは財団のホームページへ

岡山 担い手財団

検索

# 北房地域農業委員の活動～小学生に農業体験～



土作り体験をした  
児童から感想を  
いただきました

地域には宝のような子どもたちが育っています。彼らにこそ農業の大事さを知つてほしい。その機会を提供したいと北房地域7人の委員たちと事務局・学校が役割分担して、委員の圃場で北房小学校3年生41人がブドウ栽培体験をしました。

先に教室でイラストや絵本を使って栽培や土作りの話をしておき、先生方も事前学習を尽くしてくださって、7月に袋掛けと土作り作業を実施。子どもたちは名前や絵を書いた袋を持参して、委員たちに教わりながらお気に入りの房に掛けました。さらに、準備しておいた落ち葉やススキや堆肥などの資材を畑に投入しスコップで土をかぶせる作業をしました。とても楽しそうにやってくれました。

9月21日、自分のブドウを収穫・試食。わあ、重い！大きい！甘い！畑に歓声が響き渡りました。子どもたちは予め聞きたい事項を考えており作業の合間にいきいきと質問を投げかけ、委員たちが四苦八苦して応える場面も見られました。後日学校から届いた感想文集を読むと、作物作りが楽しいことや土作りがとても大事であることを、みんな、なんとよく理解してくれていたことか！農業委員会と教育委員会が連携し学校教育の中で学習しながら農業体験をすれば、子どもたちに地域の主要産業である農業といつものをしつかりと伝えていくことができると思感しています。

## 編集後記

農林水産省の農産物価統計調査によると、2020年平均を100とした場合、2022年6月の生産資材は115に上昇する一方、農産物価格は99に下落しています。このことは農業經營に大打撃となつており、「米作つて、飯食えない」「赤字続き、もう限界」という悲鳴が上がっています。

今回紹介した人や多くの農業者の農業經營が安心して増産に励める条件整備が急務です。飼料の77%、化学肥料のほぼ100%、野菜の種、鶏のひなの大半も外国頼みです。飼料の外國依存から転換し、食料自給率向上、価格保証や所得補償などで農業經營の危機を開する対策が不可欠です。

農地を守り、手を応援する農業専門情報紙です。経営と暮らしに役立つ情報を分かりやすくお伝えします。  
※見本紙もございますのでお気軽にご連絡ください。

発行：毎週金曜日  
購読料：月額7百円  
申込先：農業委員または農業委員会事務局へ

## 全国農業新聞の 購読ご案内